



「品質月間特集」
今日よりもっと良く
情報を共有し環境変化に対応
小島プレス工業(株)

当社は、鉄・樹脂・電子部品の3つの柱を中心に、自動車内装部品生産をし、来年創立75周年を迎えます。創業以来、創業者の理念「我社の本領は最大の会社たらしにするにあらずして常に良品を製造する会社である事」を全社員で実践してきました。

昨今、自動車業界における環境が大きく変わろうとしています。生産体系では国内3極化、急激なグローバル化が進む中での国内生産台数の減少、HV、PHV、EVなどの自動車の構造変化、さらには製品の機能が向上する反面、国際競争力に打ち勝つためのコスト低減が必要不可欠となっています。また、去年は東日本大震災やタイでの洪水のように、想定以上の危機管理体制が求められる時代となりました。

こうした著しい環境変化の中で、近年では解析・設計技術の精度向上により品質不良の未然防止が進み、生産準備段階での問題は大きく減少してきましたが、未だゼロになっていないという現実を謙虚に受け止めています。

品質活動で最も大切なことは、人づくりです。今年度は『人財共育』をキーワードに挙げ、上司と部下、育てる側と育てられる側に「育てたい、育ちたい」という意思を共有化し取り組んできました。そして、変化点を各々が感じ、効果を確認する事です。昨年と今年、昨日と今日の違い、良い・悪いを裏づけしてこの活動が成就して不良が出ないというところまで突き詰めることです。これからも全社を挙げて「今日よりもっと」という気持ちを共有し、明確に目標を持ち進めていきます。

<トップが先頭に立った現地現物での改革>



その実践活動として、小島社長を先頭に材料から生産、出荷の上流から下流までの全工程で『良品廉価』『世界最安値のものづくり改革』をポイントに、主要

工場はじめ、小島グループ会社、海外拠点、サプライヤーと、各々年2回横並びで現地現物での報告会を実施し、活動のスピードアップを図るとともにさらなる進化を目指しています。

<グループ会社 サプライヤーを交えて>

